

NRU

国労東北自動車支部

東日本自動車協議会

第27回

定期委員会開催

小諸市

2月17日(火)～18日(水)長野県小諸市、小諸グランド・キャッスルにおいて、第27回国労東日本自動車協議会定期委員会が開催され、各地から28名が参加。職場の問題点をはじめ組織の強化・拡大の取り組みなど活発な討論を行い、共に頑張る決意を確認しました。



恒例により唐沢副議長の司会と議長を兼ねて議事が進められ、丸山議長が「関越道、北陸道と事故が相次いで発生したが、職場の点検活動がとても大切である。関東で小松君が加入したが、一方で高齢化も進んでいる。本委員会が、拡大していくにはどういう運動が良いか議論していただき拡大につなげていこう」と挨拶。



エリア本部情勢報告

来賓として東日本本部佐藤書記長より、四点にわたり提起がされました。
一、安倍反動政治に対し、統一自治体選挙、来年の参議院選挙は重要になってくる。しっかり取り組みを。

責 任 教 宣 部
北山修司 編 教
NO,57
2015.2.26

国労加入
で職場を
変えよう

「原発のない福島県民大集会」
3月14日(土)12時30分開会
福島市・あずま総合体育館

2015年新役員

議 長	丸 山 知 一	【東 京】
副議長	唐 澤 富 雄	【長 野 原】
〃	北 山 修 司	【仙 台】
事務長	兜 森 秀 昭	【秋 田】

二、二〇一五春闘について所定昇給に一律一〇〇〇円の上乗せやアルバイト、契約社員の改善など国労独自の要求で取り組む。団交中心とならざるを得ないが一人一要求、現場長交渉など職場から創意工夫した闘いで春闘を盛り上げよう。
三、JRグループとして、さらなる収益確保を進めている。関連会社の組織化・労働条件の向上が重要。
四、組織拡大に特効薬はない。本部オルグに同行しながら、皆さんの先頭に立ち共に頑張る。



主な発言内容

- ◎プロパー社員は親会社の社宅に入れないし乗車パスもない。エリア本部で考えてほしい。
- ◎盛岡以北の転勤者が多く、次はエルダーという声もあり不安。
- ◎事案があっても組合に提案ダイヤを出さない。分会を通して会社を詰めていきたい。また、点呼明けの人間が夜行便乗務となつている。勤務扱いなど問題では？
- ◎エルダーになって賃金が半分の15万円。家族七人では無理だ。制度の在り方を考えてもらいたい。
- ◎雪害で三回チェーンをかけたが整備されておらず大変。会社は、切れたら自分で直せと言ってる。
- ◎無呼吸(SAS)でD判定でも会社は何も言わない。勤務扱いは？
- ◎分会大会で、分会集会を会社施設で行うことにしている。会社もOKしてる。執行委員会、分会情報が発行など取り組んでいきたい。※制度的な問題は、エリア本部が労働協約改定時、意見集約を行い申し入れを行います。以上